

北緯40度

・そぞろある記



安全確認しっかりと

春の交通安全運動の一環として、交通安全教室が4月14日から5月8日までの間の6日間、村内の小中学校と普代児童館で開かれました。

このうち4月19日に開かれた黒崎小学校（大洞晴洋校長、児童15人）の同教室では、村交通指導員の皆さんから、安全な歩行の仕方や正し

い自転車の乗り方などを学習しました。（写真）

実習後、太田武志交通指導員は「一番大切なのは安全確認です。自転車では発進するときや交差点での確認、歩行者も横断歩道を渡るときの確認が非常に大事です」と注意を促していました。



元気で帰ってこいよ

「元気で帰ってこいよ」と4月27日、堀内小学校（三宅明美校長、児童50人）の堀内海づくり少年団（澤田奈津季団長）16人が、サケ供養塔前の普代川河口にサケの稚魚約3万匹を放流しました。団員らは村漁協職員の下道勇次栽培漁業課係長の協力で、約5℃、1・5℃ほどに成長した稚魚を白いバケツに分けてもらい、大切そうに放流していました。（写真）澤田団長は「3年後に帰ってくるのが楽しみです」と話していました。

ゴミたくさん1200kg

普代村のイメージアップと環境美化の推進を目的に「北緯40度コーストライン・クリーンアップ大作戦」（村観光協会・嵯峨政嘉会長）が4月18日、村内全域で行われました。

午前6時一斉に始まった清掃活動には、約300人が参加。国道脇に捨てられたコーヒーやジュース、ビールの空き缶、たばこの吸い殻などを約1時間拾いました。久慈消防署普代分署から普代浜までを清掃した皆さんは、「まだまだいっぱいあるよ」と雪解けとともに現れた、たくさんのゴミに驚いていました。この日収集したゴミは約1200キロにも及びました。（写真）

